

『 評 価 書 』

福島県立安積黎明高等学校

令和2年3月16日 学校評議員による評価

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>I 学校における自己評価活動の取組み</p> <p>I. 1 『学校経営・運営ビジョン』と校内組織体制について</p> <p>○校訓である「恕」の精神を基本とし、若いエネルギーが躍動する元気な学校づくりを期待する。</p> <p>○「人生をどう生きるか？」は大切であり、生徒たちがそのことに気づいていけるような指導をお願いしたい。</p> <p>○「日常の大切さとともに生徒一人ひとりの人生にかかわる職責を心に刻み、教職員がいったいとなって生徒の人格の陶冶に資する教育に努める」という理念を根幹に据えた学校経営、運営ビジョンに基づき、学校経営方針並びに校内組織体制がしっかりと樹立され、大変すばらしいと思います。</p> <p>I. 2 『学校経営・運営ビジョン』の展開と自己評価について</p> <p>○先生方の各専門部アンケートの自己評価について、多くの項目で評価が2または3がありました。自己評価4（十分にできている）が増えていくことを望みます。</p> <p>○生徒・保護者の評価の両方で、「どちらかというが良い」が多く、生徒のやる気にかかわる「良い」という評価が減ってきている。「良い」と評価してもらえらるような指導と育成をお願いしたい。</p> <p>○特に今年は、「今年度の取り組みの5項目の内容」が新しく設定され、「授業第一を徹底」「自発的な取り組みを引き出す指導」「学ぶ目的を考えさせる進路選択」「新学習指導要領に対応した指導体制の整備」「大学入試改革」等、「今年度の取り組みの重点」が新しく設定・実施され素晴らしいと思います。</p>	<p>○3年に1度の文化祭「花かつみ祭」において、生徒たちが自己実現をする姿が数多く見られた。学力をつける指導も大切だが、生徒一人ひとりにあった指導をしていく必要がある。</p> <p>○進路指導の充実のため、大学情報の提示だけでなく、探究活動と連携した取り組みを図っていく。</p> <p>○「学校経営・運営ビジョン」に基づく各部署の目標と実践及び自己評価について、概ね良好であることは確認いただけたが、各部の反省を確実に改善に生かし、生徒の目標実現のために学校の課題解決に取り組んでいきたい。</p>
<p>I. 3 広報とアンケート等について</p> <p>○アンケートがマンネリ化していないか心配です。苦情が前年の1.5倍あったことは、学校に対して言いたくなるようなアンケートがあり、学校への思いを書いている結果だと思います。保護者が無い場合等は、学校と保護者の双方が理解しあえる場があると良いと思います。新聞部や放送委員会などと連携して学校ホームページを活用し、学校の様子などをアピールできないものでしょうか。</p> <p>○生徒用・保護者用のアンケート共に、設問の再考をお願いしたい。年度別統計にも関わるとは思いますが、もう少しわかりやすく簡潔な質問にしてほしいと思います。</p> <p>○学年通信の内容が、大変充実していて貴重です。学校の様子や来月の予定は、保護者にとっても大変大事な内容で、学校への信頼感や安心感が一層高まることと思います。また、各先生方の思いのこもった文章は、人生の分岐点にいる生徒達の道しるべとなり、自分の進路や生活に生かされることと思います。</p>	<p>○学校評価のアンケート項目について助言をいただいた。変わりつつある学校を正しく評価でき、生徒・保護者の意見が集約できる具体的な質問項目に次年度変えていく。また、保護者や地域への情報発信をさらに充実させ、地域から信頼される学校であり続けたい。</p>

<p>I. 4 取組み状況全体について</p> <p>○生徒に対する把握と対応で、保護者が先生と相談なく休学や転学になる状況があることに驚いている。保護者が相談しやすい対応策はとれないものでしょうか。</p> <p>○学校管理者側と一般教師の思いのベクトルが一致することが大切だと思います。よくできていると感じています。</p> <p>○3年に1度開催の「花かつみ祭」、発表の内容が見事で、創意工夫に満ち、取り組む生徒さん一人ひとりの主体的で全力投球の輝く姿がまぶしかったです。また部活動でも、コーラス部の全国銀賞やかるた部の高総文祭出場など大変良い成績が得られ、生徒の活躍が見られました。部活動などの特別活動で見られる生徒の学びあいや高めあう姿は、正に「主体的、対話的で深い学び」であり、教科指導の中に効果的に取り入れると、一層学びが広がり、非常に高い学力が身につけていきますので、活用できると良いと思います。</p>	<p>○本年度は、休学者や退学者、長欠者数が前年度より更に減少した。しかし、転学をした生徒の保護者には、学校の指導に不信感を持っている様子も見られたので、担任が抱え込まずに、生徒の情報を集約して共有する体制づくりを行っていく。</p>
<p>II 自己評価活動と学校評価全体への学校の組織的な取組みとその改善</p> <p>○生徒のやる気を上げる取り組みをしていると思いますが、もう一步のような気がします。また、部活動の活動方法や活動時間に思いを持っている方は多いと思いますが、先生方の働き方改革に理解と解決策が必要だとも思いますので、バランスの取れた対応をお願いしたい。</p> <p>○評価活動から得られた課題や対策について、教職員一人ひとりが十分に理解し、今後に役立てることを期待します。現在でも素晴らしい良い先生ばかりですが、もっともっと成長していただければと思います。</p> <p>○学校評価で、「生徒アンケート」「保護者アンケート」「生徒活動満足度比較」「授業に関するアンケート」等が実施され、集計結果をわかりやすくグラフ化し、改善点を明確にされたことは大変有意義であると思います。</p>	<p>○生徒数の減少による部活動の統廃合は避けて通れない状況で、顧問の配置が厳しくなってきた。部活動は生徒の自主的な活動が主であることから、部活動顧問と生徒が話し合っって月毎の計画を作成するなど、改善を図りたい。</p>
<p>III その他</p> <p>○先生方同士のコミュニケーションをとる時間が、十分に取れていないことが心配です。先生方の連携が良くなれば、先生と生徒、先生と保護者の連携もよくなると思います。</p> <p>○校長室で行われた評議員会に服務倫理委員の先生方が見えられましたが、入室のあいさつができていない先生がいたのが気になりました。生徒たちにはあいさつの指導を行っているものと思いますので・・・。</p> <p>○今年度の卒業式は、3月1日に来賓に福島県知事のご臨席を賜り挙行されました。「新型コロナウイルス感染予防」のため在校生の出席がなく、内容も短縮して実施されましたが、校長先生からの心のこもったご祝辞があり、担任の先生からの呼名に卒業生からの心のこもった返事が聞かれ、美しく校歌が歌唱されました。素晴らしい卒業式であったと思います。</p>	<p>○先生方が忙しいため、互いに話し合ったりフォローしあうような場面が減っている。次の学習指導要領施行にむけて、生徒の授業時間数の削減も視野に、職員の勤務体制の再構築を進めていく。</p>